浜松医科大学基礎臨床研究棟５階５３８・５４０室改修電気設備工事

Ⅰ 工 事 概 要

1．工事場所　静岡県浜松市中央区半田山一丁目２０番１号

2．完成期限　令和９年　３月２６日　（ 金 曜 日 ）

3．建物概要

建物名称		基礎臨床研究棟			
工種		模様替			
構造		SRC造			
階数		地下5階　地上9階			
建築基準法による	建築面積（㎡）	1,580㎡			
	延べ面積（㎡）	15,831㎡			
消防法施行令別表第一の区分		7項			
改修面積（㎡）		31㎡			
備考		建物の使用　有			

4．工事種目（●印の付いたものが対象工事種目）

工事種目 ＼ 建物別及び屋外	工事種別			
	基礎臨床研究棟			
●電灯設備	一式			
○動力設備				
○電気自動車用充電設備				
○電熱設備				
○雷保護設備				
○受変電設備				
○電力貯蔵設備				
○発電設備				
○構内情報通信網設備				
●構内交換設備	一式			
○情報表示設備				
○映像・音響設備				
●拡声設備	一式			
○誘導支援設備				
○ナースコール設備				
○テレビ共同受信設備				
○監視カメラ設備				
○駐車場管制設備				
○防犯・入退室管理設備				
●火災報知設備	一式			
○中央監視制御設備				
○構内配電線路				
○構内通信線路				
○発生材処理				

5．指定部分　●無　○有　対象部分（　　）

指定部分工期　令和　年　月　日

6．概成工期　●無　○有　令和　年　月　日（　曜日）

（第1編1.1.2）、［第1編1.1.2］

Ⅱ 工 事 仕 様

1．共通仕様

（1）文部科学省発注工事請負等契約規則（文部科学省訓令第二十二号）別記第１号の工事請負契約基準、~~現場説明書~~、図面　2枚及び本特記仕様書　==枚によるほか、●印の付いたものを適用する。○印又は==印で抹消した事項は全て適用しない。ただし，標準仕様書は適用とする。

●公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）（令和7年版）（以下「標準仕様書」という。）

●公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）（令和7年版）（以下「改修標準仕様書」という。）

●公共建築設備工事標準図（電気設備工事編）（令和7年版）（以下「標準図」という。）

●文部科学省電気設備工事標準仕様書（特記基準）（令和4年版）（以下「文科仕様書」という。）

●文部科学省電気設備工事標準図（特記基準）（令和4年版）（以下「文科標準図」という。）

●工事写真撮影要領（令和5年9月）

~~（2）機械設備工事及び建築工事を本工事に含む場合は、機械設備工事及び建築工事はそれぞれの特記仕様書を適用する。~~

~~なお、機械設備工事の特記仕様書は（　　）図、建築工事の特記仕様書は（　　）図による。~~

（3）請負代金は、受注者からの適法な支払請求書に応じて浜松医科大学会計課から１回で支払うものとする。

2．特記仕様

（1）本特記仕様書の表記

1）項目及び特記事項は、●印の付いたものを適用する。

2）項目に記載の（第　編　．　．　）内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。

3）項目に記載の［第　編　．　．　］内表示番号は、改修標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。

4）項目に記載の〈第　編　．　．　）内表示番号は、文科仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。

項目	特記事項
●電気保安技術者 （第1編1.3.2） ［第1編1.3.2］	この工事現場に下記のいずれかの電気保安技術者を選任する。

項目名	電気保安技術者
1. 第３種電気主任技術者以上の資格を有する者	●
2. １級電気工事施工管理技士の資格を有する者	●
3. 第１種電気工事士の資格を有する者	●
4. 高等学校またはこれと同等以上の教育施設において、電気事業法の規定に基づく主任技術者の資格等に関する省令第７条第１項各号の科目を修めて卒業した者	●
5. 旧電気工事技術者検定規則による高圧電気工事技術者の検定に合格した者	●
6. 公益事業局長又は通商産業局長の指定を受けた高圧試験に合格した者	●
7. ２級電気工事施工管理技士の資格を有する者	●
8. 第２種電気工事士の資格を有する者	●
9. 短期大学若しくは高等専門学校又はこれらと同等以上の教育施設の電気工学以外の工学に関する学科において一般電気工学（実験含む）に関する科目を修めて卒業した者	○

工事用電力を構外から引き込む場合は、法令に基づく有資格者を定め、監督職員に報告する。

●施工条件 （第1編1.3.3） ［第1編1.3.3］ 〈第1編1.3.3〉	本工事建物は研究施設であり、騒音、振動、粉塵等の発生防止には特別な配慮を要するため、監督職員と十分に協議し、工事計画を立てること。
●発生材の処理等 （第1編1.3.9） ［第1編1.9.1］	発生材の処理は、下記による。 （1）引き渡しを要するもの 1）品　名 2）引渡し先 3）集積場所 4）集積方法 （2）特別管理産業廃棄物 1）品　名 2）処理方法 （3）現場において再利用するもの 1）品　名 2）使用場所 （4）再生資源化するもの 1）品　名 （5）その他の発生材 1）品　名　全ての撤去品 2）処理方法　関係法令に従い適切に処理するものとする。
●撤去 ［第1編1.8.1～6］	

●完成時の提出図書
（第1編1.7.1～3）
［第1編1.11.1～3］

工事完成後提出する完成図等の種類及び提出部数は下記による。

名称	体裁等	部数
完成図	ＣＡＤデータ及び電子データ	
〃	~~原図（普通紙 ○Ａ１版 ○Ａ３版）~~	部
〃	製本（Ａ４版ファイル）	２部
〃	~~仮製本~~	A1版1部、A3版3部
~~施工図~~	~~原図（普通紙 ○Ａ１版 ○Ａ３版）~~	部
~~〃~~	~~仮製本~~	A1版1部、A3版3部
~~※ 保全指導書~~	~~●紙媒体（２部）●電子データ~~	
※ 機器完成図	●紙媒体（２部）●電子データ	
※ 機器性能試験成績書	●紙媒体（２部）●電子データ	
~~※ 負荷設備台帳~~	~~○紙媒体（一部）○電子データ~~	
※ 官公署届出書類	●紙媒体（１部）●電子データ	
工事写真	●紙媒体（１部）●電子データ	

※印の紙媒体は完成図製本とともに、Ａ４版ファイル綴じとする。

電子納品は次による。

(1) 貸与する設計図のＣＡＤデータの著作者名：浜松医科大学　ファイル形式：ＪＷＷ

貸与条件：貸与するＣＡＤデータを本工事における施工図又は完成図の作成のため以外にしようしないこと。

(2) 電子納品の対象は上記によるほか、監督職員と受注者で協議を行う。

(3) 提出方法及びファイル形式は以下による。

ＣＡＤデータ：ＪＷＷ、ＤＸＦ及びＰＤＦ　電子データ：ＰＤＦ

提出方法：ＣＤ又はＤＶＤに保存し、１部提出する。

~~負荷設備台帳は、本学の建物管理システムの書式によるＥＸＣＥＬファイル形式にて作製し提出する。~~

項目	特記事項
●電線の色別 （第2編2.1.3） （第3編1.1.4） ［第2編2.1.4］	配線及び主回路の導体の色別は、次による。 ○標準仕様書による。 ●配線及び主回路の導体色別は、下記による。

電気方式		第１相	第２相	第３相	中性相
高圧	三相３線式	主回路導体は、その端部又は一部に当該地区の電力会社の相色別による色別を施すものとする。			
低圧	三相３線式	赤	白	黒	
	三相４線式	赤	青	黒	白
	単相２線式	赤（青）	接地側 白		
	単相３線式	赤	青		白
	直流２線式	青	白		

配線	（１）分岐回路の色別	分岐前の色別による。
	（２）発電回路の第２相	接地側の電線の色は黄色とする。（無停電回路含む）
	（３）切替回路の２次側	規定しない。
	（４）漏電遮断器回路の接地	専用接地極とした時の接地線は、監督職員と協議し、一般接地線と色別を区別する。
	共通事項	配線（１）～（４）による。
分電盤類	左右・上下及び遠近の別は、正面から見た状態	ア）左右の別は、左からとする。 イ）上下の別は、上からとし、直流２線式は、下からとする。 ウ）遠近の別は、近いほうからとし、直流２線式は、遠いほうからとする。

備考

（a）配電盤類については、次による。

（1）左右、遠近の別は、各回路部分における主となる開閉器の操作側又は、これに準ずる側から見た状態とし、分電盤類による。

（2）三相回路又は単相３線式回路より分岐する回路は、分岐前の色別による。

（3）三相交流の相は、第１相、第２相、第３相の順に相回転するものとする。

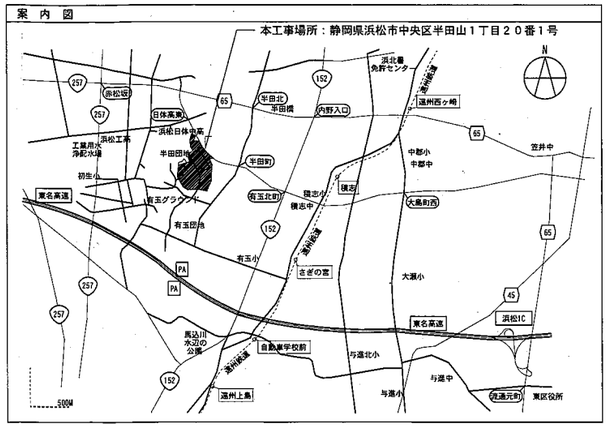
（b）屋外架空配線の色別は、本表によらなくてよい。

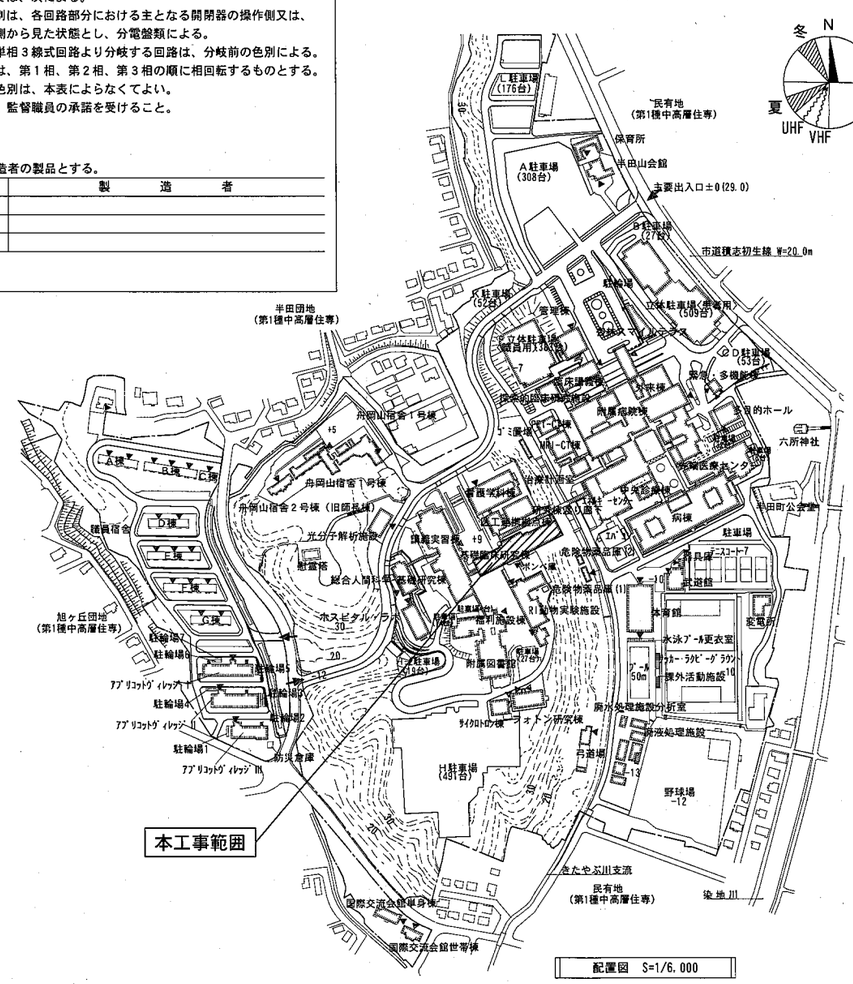
（c）接地線の色別は、監督職員の承諾を受けること。

○機器及び材料の指定	機器及び材料は下記の製造者の製品とする。

機材名	製造者

案内図

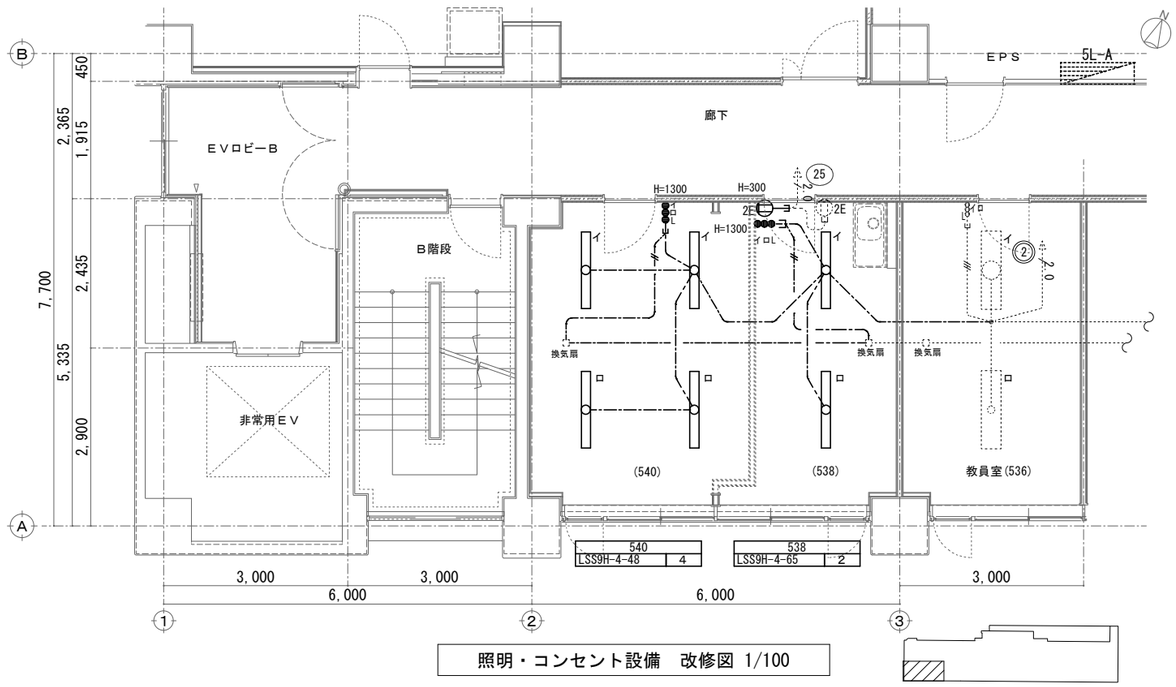




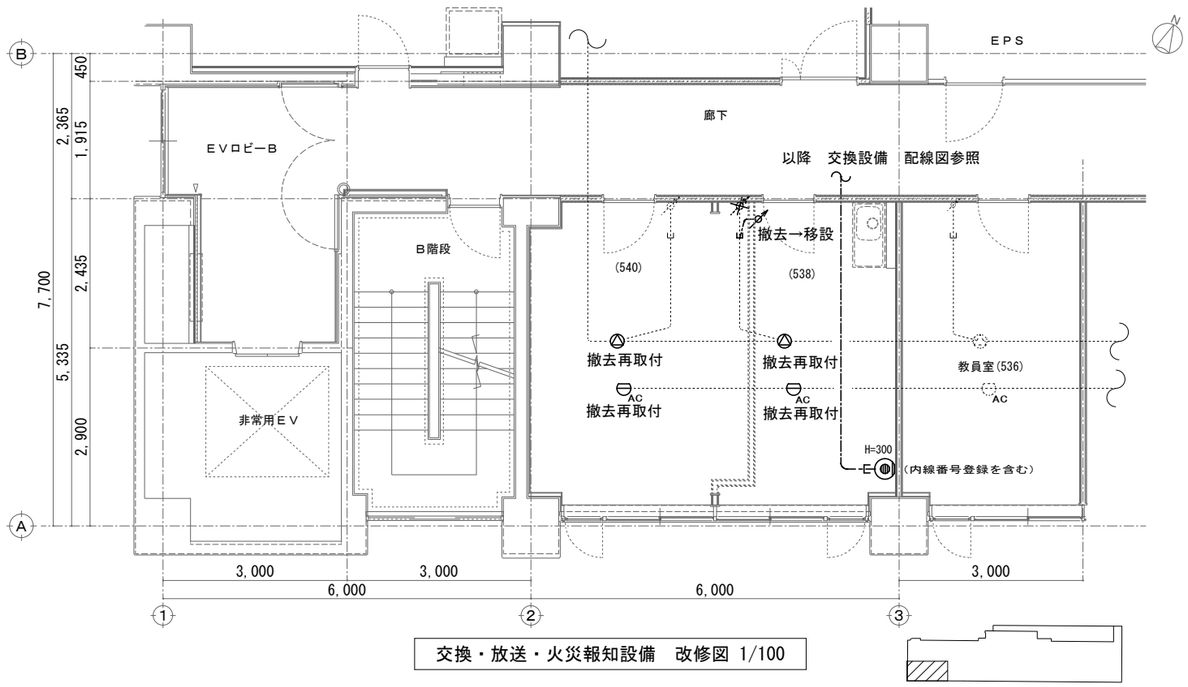
工事名	浜松医科大学基礎臨床研究棟５階５３８・５４０室改修電気設備工事			図面番号	Ｅ－１
図面名称	電気設備工事特記仕様書、案内図、配置図	縮尺	1/6,000	図面作成	令和8年11月

浜松医科大学施設課

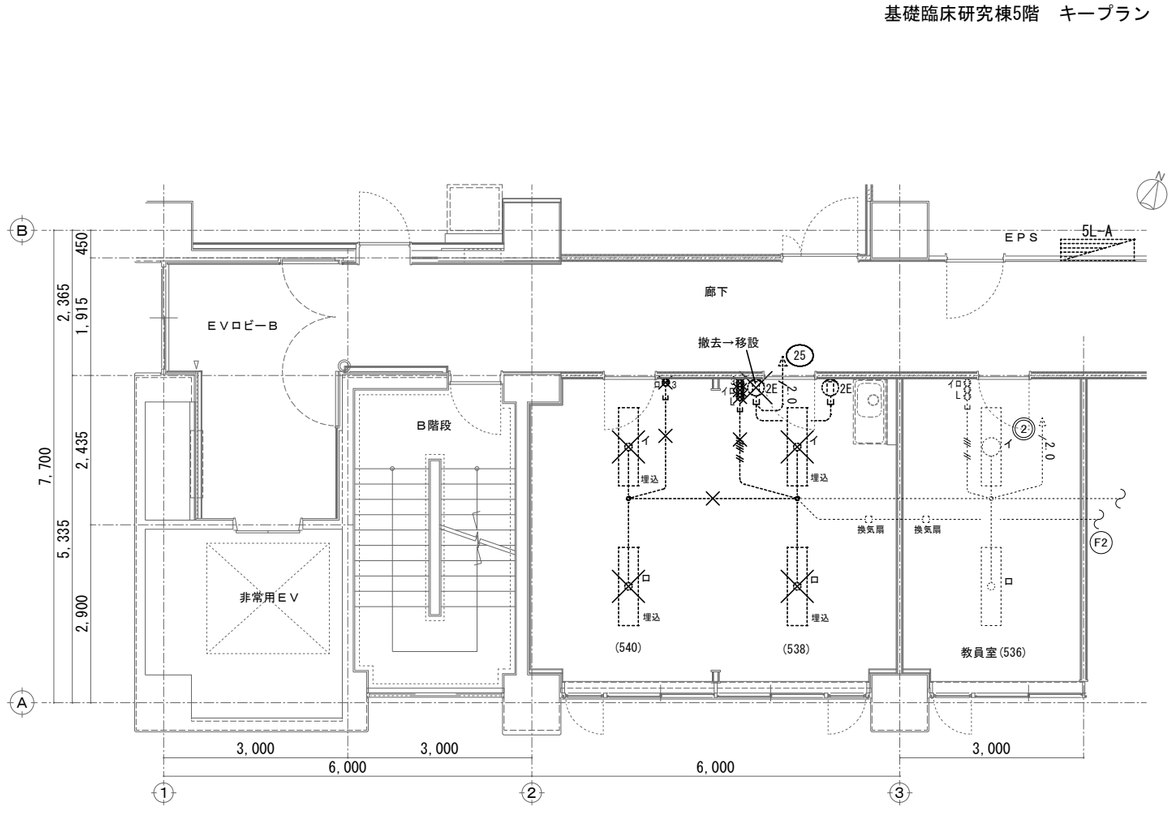
課長	課長補佐	係長	担当



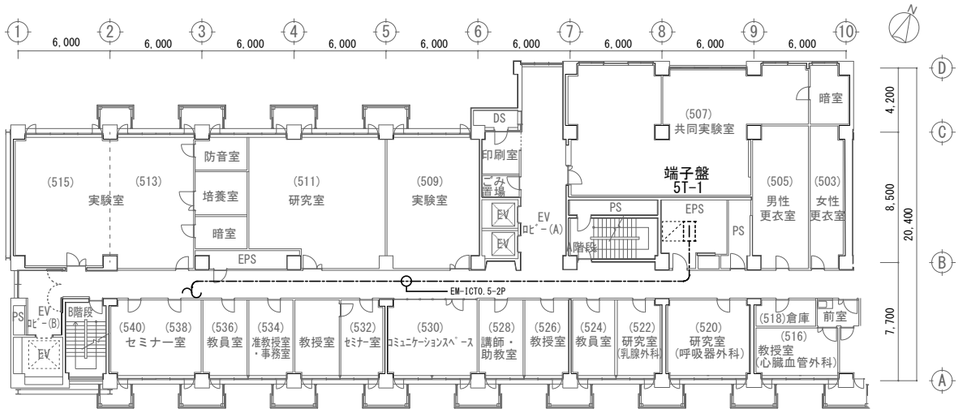
照明・コンセント設備　改修図 1/100



交換・放送・火災報知設備　改修図 1/100



照明・コンセント設備　撤去図 1/100



交換設備　配線図 1/400

基礎臨床研究棟5階　キープラン

基礎臨床研究棟5階　キープラン

基礎臨床研究棟5階　キープラン

【凡例】

記号	名称	備考	記号	名称	備考
	電灯分電盤	既設		ｱｯﾃﾈｰﾀ	点線は既設を表す
•	ﾀﾝﾌﾞﾗｽｲｯﾁ　2P15A×1	点線は既設を表す		壁埋込電話ｺﾝｾﾝﾄ　6極4芯	新設
2E	壁埋込ｺﾝｾﾝﾄ　2P15A×2	点線は既設を表す		EM-EEF1.6-2C　(天井隠蔽配線)	新設
	天井直付照明器具	新設		EM-EEF1.6-3C　(天井隠蔽配線)	新設
	天井埋込照明器具	既設撤去	2.0	EM-EEF2.0-3C　(天井隠蔽配線)	既設
	天井埋込スピーカー	点線は既設を表す		EM-EEF1.6-3C+1.6-2C　(天井隠蔽配線)	既設
AC	差動式スポット型感知器	点線は既設を表す		EM-EEF1.6-3C+EM-EEF1.6-2C×2　(天井隠蔽配線)	既設

特記事項

1. ——3—— 鋼量壁等保護管
2. 換気扇（別途工事）の電源接続は本工事に含む。

工事名	浜松医科大学基礎臨床研究棟５階５３８・５４０室改修電気設備工事	図面番号	Ｅ－２
図面名称	照明・コンセント・交換・放送・火災報知設備　改修図、撤去図	縮尺	1/100, 1/400
		図面作成	令和8年11月

浜松医科大学施設課

課長		課長補佐		係長		担当	